

第3回 豊田市教育行政計画審議会 次第

日時 令和7年2月17日（月）午後1時30分から3時30分まで
場所 豊田市役所東庁舎6階

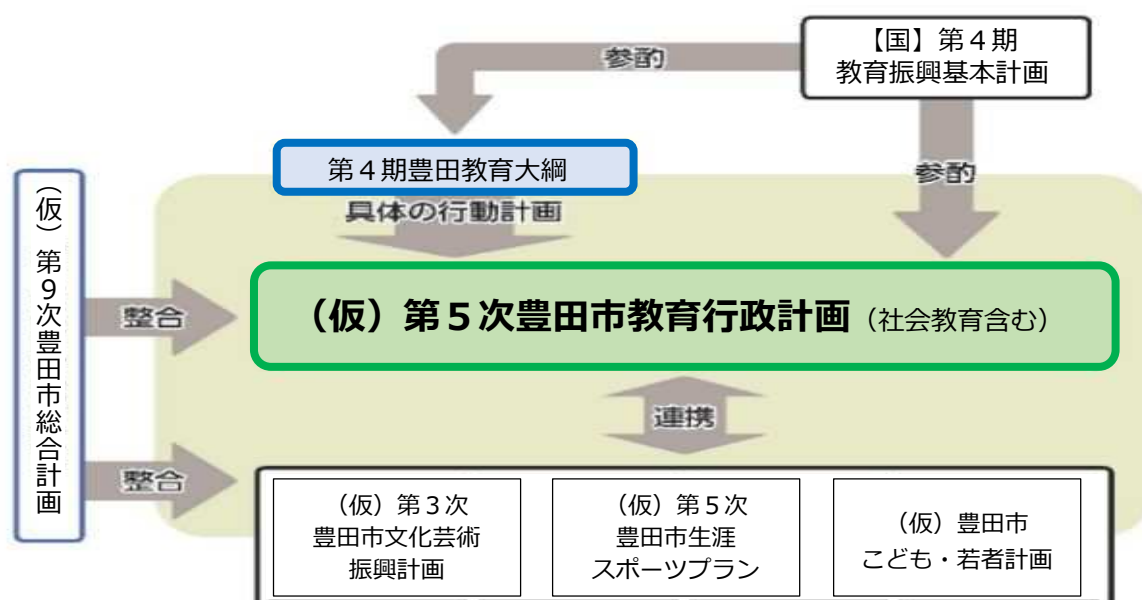
	頁
1 教育長あいさつ	－
2 会長あいさつ	－
3 会議録署名者の指名	－
4 確認事項	
（1）豊田市の教育に関するアンケート調査報告書（案）	【別冊1】
（2）第4次教育行政計画の中間評価	【別冊2】
5 議 題	
（1）（仮）第5次教育行政計画について	
・（仮）第5次教育行政計画の概要	1
・教育大綱の見直し（案）	3
・第4次教育行政計画の中間評価と（仮）第5次教育行政計画への展開	8
・学校教育と社会教育の連携	9
・（仮）第5次教育行政計画の体系（案）	10
【協議ポイント】	
◎学校教育と社会教育の連携について	
◎基本方針、取組の方向性、取組の妥当性について	
6 報 告	
（1）豊田市学校規模の適正化について	
7 その他	
今後のスケジュールについて	
第4回 令和7年6月12日（木）13：30～	
第5回 令和7年9月19日（金）13：30～	

（仮）第5次豊田市教育行政計画の概要

（1）（仮）第5次豊田市教育行政計画の位置付けと範囲

- ・（仮）第5次豊田市教育行政計画は、教育委員会の職務権限に伴う分野を対象範囲とし、個別計画がある各分野は本計画に含まないものとする。
- ・第4次豊田市教育行政計画では範囲外としていた成人の社会教育分野を、（仮）第5次豊田市教育行政計画では範囲内とする。
- ・成人の学びや地域での活動の機会を充実することで、子どもたちが、多様な人とつながり、様々な経験をする機会が増え、学力だけでなく、自己肯定感や、人や社会とのかかわる力が高まることが期待できる。

【（仮）第5次豊田市教育行政計画】



（2）検討スケジュール

【令和6年度】

2月 第3回審議会

12月の総合教育会議の結果を受け、大綱・基本理念の確認、
大綱を反映した計画体系・取組の方向性などを議論

【令和7年度】

5月28日（水）総合教育会議 大綱最終調整

6月12日（木）第4回審議会 計画書素案

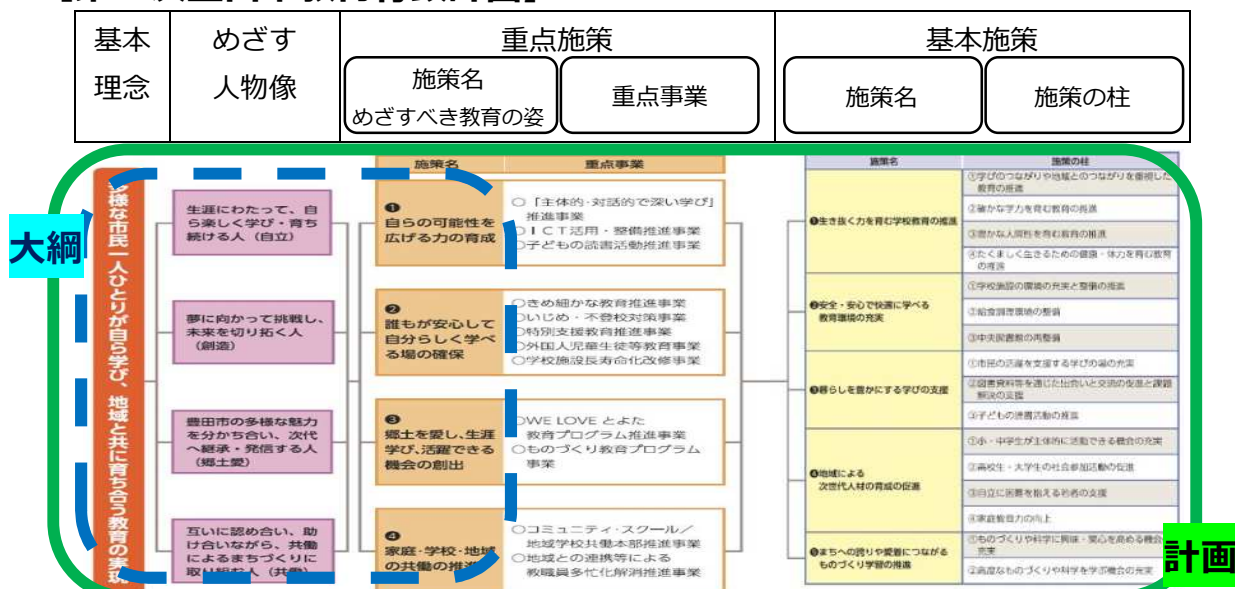
7月～8月 パブリックコメント

9月19日（金）第5回審議会 答申案（12月議案上程）

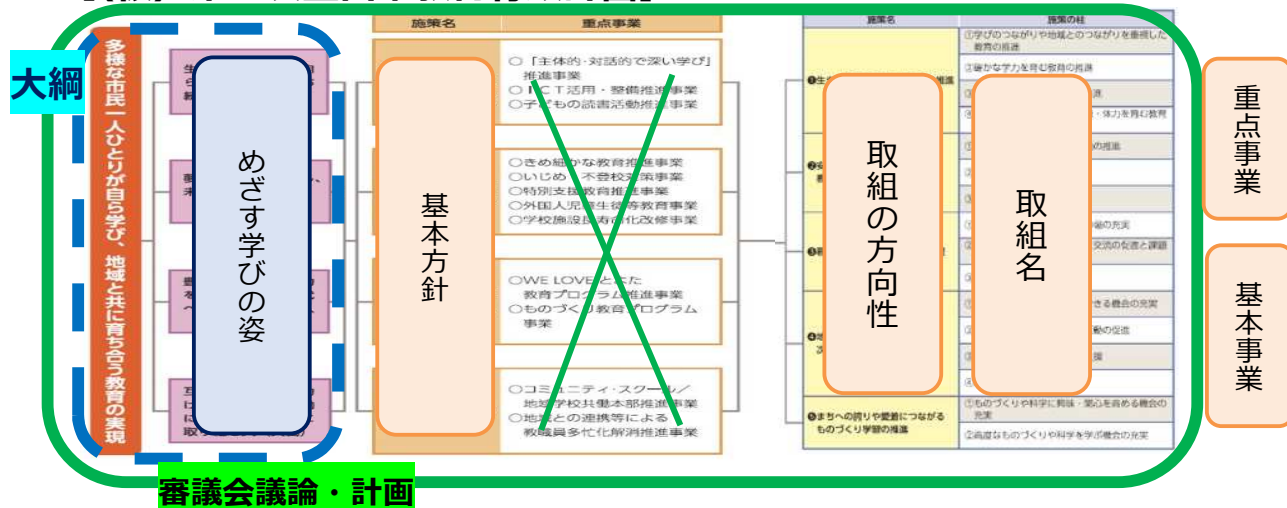
(3) 計画の体系イメージ

- ・社会変化の激しい時代であること、また（仮）第9次豊田市総合計画と整合性を図りながら、柔軟にかつ機動的に事業展開するために、**（仮）第5次豊田市教育行政計画では、全体の取組の方向性や取組名レベルまでの記載とし、事業は計画とは別途、毎年度作成し公表する。**

【第4次豊田市教育行政計画】



【（仮）第5次豊田市教育行政計画】



(4) 計画の推進体制のCheck（評価）について（案）

- ・事務局により進捗状況を把握し、教育委員会議にて報告。
- ・毎年度更新する事業一覧のうち、教育委員会議において選定し、外部有識者の意見・助言を参考にしながら点検・評価を実施し、結果を公表する。

1 見直しにあたって大切にしたい4つの視点

●「教育大綱」から「学びの大綱」へ ①

「能動的・主体的」という意味合いをもつ「学び」から、自分らしく豊かな人生を切り拓くことができるよう、名称を「学びの大綱」とした。

●子ども起点、持続可能な社会の「創り手」 ③⑦⑧⑩

変化の激しい予測困難な時代に、持続可能な社会を築くためには、子ども起点や子ども視点で物事を捉え、一人ひとりの個性や新しい価値観など多様性を包摂する教育環境の実現や、これからの時代を生き抜く力を育むことが大切である。

また、地域や世界との関わりを意識し、様々な課題を自分事として捉え、多様な人と共に創造性を生かしながらイノベーションに繋げるなど、持続可能な社会を創っていく資質や能力を育むことが求められている。

●子どもたちの命と心を守る ④⑦

子どもの権利条約、豊田市子ども条例の理念に基づき、自他の命と人権の尊重を重視し、子どもたち一人ひとりのかけがえのない命と心を守ることを、改めて明記した。

●多様なつながりを通じた学び合いが、人生や地域を豊かにする

②③⑤⑦⑧⑨⑩

◆～（仮）第9次総合計画（答申）より～

少子化や核家族化といった背景の中、子ども同士や多世代との交流機会が減少しているが、こどもたちは、つながりを通じて、学力だけでなく、自己肯定感や、人や社会と関わる力を高め、自ら考え判断する力を育まれる。また地域の生き生きと暮らす大人たちの姿を伝えることで、こどもたちがまちへの愛着を育み、未来に夢と希望をもつことにつながる。

◆～R5 生涯学習審議会 人生100年時代における学びの在り方と方策について より

「学び合い」は、個人にとっては、自分らしさの獲得や人生を豊かにすることにつながり、地域社会にとっては、関わる人材が育ち、可能性がさらに広がることにつながるもの。

2 社会、国、本市の動向

(1) 予測困難な時代の到来

新型コロナウイルス感染症の拡大・少子化、人口減少や高齢化・グローバル化の進展
DXの進展やAI技術の進展・社会のつながりの希薄化・いじめ、不登校の増加
VUCAの時代（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）

未知の状況にも対応できる力や
自らの可能性を広げる力を持った将来の担い手の育成が必要

(2) 国の第4期教育振興基本計画

①今後の教育における2つの基本方針と育むべき力¹

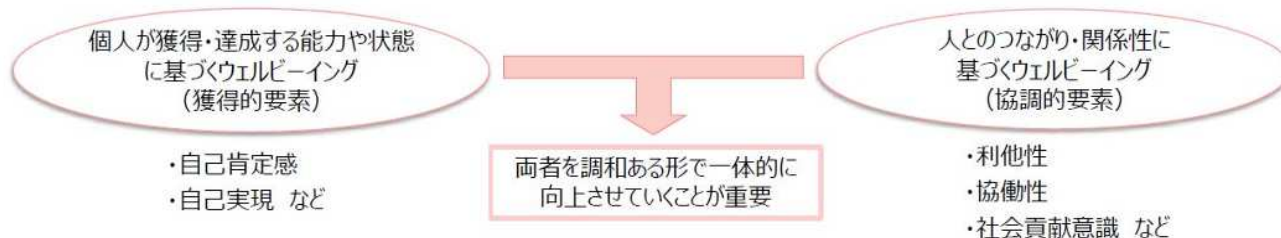
I 「持続可能な社会の創り手」の育成

主体性、リーダーシップ、創造力、
課題発見・解決力、論理的思考力、
表現力、チームワーク力、
コミュニケーション力

II 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

幸福感、学校や地域でのつながり、
協働性、利他性、多様性への理解、
社会貢献意識、自己肯定感、
心身の健康、自己実現（達成感・職業意識）

②日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングの向上²



(3) (仮) 第9次豊田市総合計画「ミライ実現戦略 2030」(答申)

視点1 「こども」起点でまちづくりを考える

視点2 誰もが「つながり合う」まちづくりを進める

取組目標① 「こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる」

- ➡こどもがミライを生き抜く力と自己肯定感を高めている
- ➡人生 100 年時代に誰もが学び合いを通じていきいきと暮らしている
- ➡市民のまちへの愛着・誇りが育まれている

¹ 文部科学省『第4期教育振興基本計画』から一部抜粋

² 文部科学省『次期教育振興計画について(答申)(参考資料・データ集)』から一部抜粋

(4) 世界との比較 (18歳意識調査)

資料：日本財団 18歳意識調査「第46回 国や社会に対する意識(6か国調査)」報告書
(2022年3月24日)

自身について

日本は「自分には人に誇れる個性がある」「自分は他人から必要とされている」「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」「自分のしていることには、目的や意味がある」「自分の人生には、目標や方向性がある」で6か国中最下位となった。
また、日本は「日々の生活で不安やゆううつを感じる」が65.3%で、6か国中最も多い。

Q 以下の項目に同意しますか。(各国n=1000)

※「はい」回答率を掲載

(単位：%)	自分には人に 誇れる個性がある	自分は他人から 必要とされている	日々の生活が 楽しい	日々の生活で 不安やゆううつを 感じる	勉強、仕事、 趣味など、 何か夢中になれる ことがある	自分のしている ことには、目的や 意味がある	自分の人生に は、目標や 方向性がある	目標を立て、 何かを達成した 経験がある
日本	47.9 6位	52.7 6位	67.7 5位	65.3 1位	80.4 6位	63.5 6位	60.6 6位	75.2 5位
アメリカ	74.0	67.7	69.0	58.0	81.5	70.0	75.2	76.8
イギリス	72.2	64.6	63.4	56.7	82.7	67.8	73.6	73.4
中国	74.2	77.3 1位	79.5 1位	46.2	82.4	82.6 1位	81.3	78.1
韓国	68.9	73.7	76.1	49.0	83.9	79.9	74.5	84.5 1位
インド	84.0 1位	59.6	78.4	35.1	88.8 1位	80.1	88.2 1位	79.2

自身と社会の関わりについて 1/2

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6か国中最下位となった。特に「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」がそれぞれ3割に満たず、他の国に差をつけて低い。

Q 以下の項目に同意しますか。(各国n=1000)

※「はい」回答率を掲載

(単位：%)	自分は大人だ と思う	自分は責任があ る社会の一員だ と思う	自分の行動で、 国や社会を 変えられると思う	国や社会に役立 つことをしたい と思う	慈善活動のため に寄付をしたい	ボランティア活動 に参加したい
日本	27.3 6位	48.4 6位	26.9 6位	61.7 6位	36.2 6位	49.7 6位
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.9 1位	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3 1位
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.8 1位	78.9 1位	92.6 1位	83.7 1位	78.1

3 教育大綱の見直し（案） 本編

学びの大綱 ①

■基本理念

② つながりの中で、誰もが学び合いながら、 自分らしく豊かな人生を切り拓く

③子どもたちが、将来に夢と希望を持ち、生き生きと学ぶためには、本市の多様な人や地域とのつながりの中で、様々な体験や学びを通じて、学びの楽しさを知ることが大切です。

④また、子どもたちが安心して健やかに学び、育つためには、市民一人ひとりが、自他の命と人権を尊重することへの理解を深め、子どもたちのかけがえのない命と心を守ることが必要です。

⑤そして、誰もが、幸せを感じ、自分らしく豊かな人生を切り拓くためには、家庭・学校・地域等において、多様な個性や立場の違いを認め合い、生涯にわたり学び合うことが大切です。

⑥このような考えの下、本市は、「つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く」を教育行政の基本理念とし、生涯を通じて学び、育ち続ける市民の活動を支援します。

■めざす学びの姿

⑦自己肯定感を高め、自他を尊重する

自他の命と人権を尊び、思いやりの心を育むために、本市の豊かな自然、歴史、文化・芸術、スポーツ等を通じた体験や学びによって、個性や価値観の違いを認め合いながら、幸福感や自己肯定感を高められるよう、環境づくりを進めます。

⑧誰もが安心して、生涯にわたり楽しく学び続ける

生涯にわたって自らの可能性を伸ばし、楽しく学び続けるために、主体的に学び、考え、行動していく力を育む学習環境の確保や、一人ひとりの個性と能力に応じた教育機会を保障し、誰もが安心して自分らしく学ぶことができる環境の実現をめざします。

⑨豊田市の多様な魅力を分かち合い、つながりの中で学び、地域とともに育つ

都市と山村、産業と自然、多文化共生等、本市の多様な資源を生かして学習・活動機会を創出することで、地域を愛し、地域資源を活用していく人が育っていく、好循環が生まれる環境づくりをめざします。

多様なつながりの中で、家庭・学校・地域が一体となって、互いに認め合い、助け合いながら、地域ぐるみの学びを共働により推進します。

⑩自ら考え行動し、ともに新しい未来を切り拓く

産業構造の変革、社会構造や価値観の変化等、予測が困難な時代を豊かに生きるために、地域や世界規模の課題を自分事としてとらえ、多様な人々とともに課題解決に取り組みながら、持続可能な新しい未来を切り拓いていく資質や能力を育む機会の充実を計ります。

第4次教育行政計画の中間評価と（仮）第5次教育行政計画への展開

成 果 ・ 課 題

国・社会の動向

次期計画の基本方針

1 自らの可能性を 広げる力の 育成	ICT 活用・整備推進事業	○児童生徒の資質・能力の育成に向けて「主体的・対話的で深い学び」をさらに推進すべく、ICT の更なる活用も前提に、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる方針が、中央教育審議会より答申が取りまとめられた。デジタル端末上に「蓄積されるデータ」を活用し、新たな教育手法や支援を必要とする子どもへの新たなサポートの在り方が検討されていく見込み。
	1人1台のタブレット環境が整ったが、学校間、学校内で活用率に差が生じている。また、ICT 環境の運営体制や校務のDX化を検討する必要がある。	○学習指導要領では、積極的に学校図書館や地域の図書館を活用して学びを広げ深めていくことが明示され、子どもたちが読書に親しむことや目的に応じて本や多様な媒体を活用し、課題解決を図っていくことが求められている。
2 誰もが安心して 自分らしく 学べる場の確 保	子ども読書活動推進事業	
	不読率が上昇している。中央図書館だけで推進するのではなく、学校や家庭との連携が必要。また、図書資料等を活用することの楽しさや良さを伝える必要がある。	
	いじめ・不登校対策事業	○国の教育振興基本計画では、基本的な方針の1つに、「誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」を掲げている。
	不登校児童生徒が増加傾向にあり、1人ひとりに応じた丁寧な対応や多様な学びの場を確保する必要がある。	○障害者権利委員会の勧告（令和4年9月）では、「障害のあるすべての子どもたちが、個々の教育的要求を満たし、インクルーシブ教育を確保するための合理的配慮を保障すること」とされている。また、「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」が令和5年3月にとりまとめられ、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援が提言されている。
3 郷土を愛し、 生涯学び、活 躍できる機会 の創出	特別支援教育推進事業	○「日本語教育の推進に関する法律」（2019年6月施行）に基づき、外国人の子どもたちが共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であることを前提に、日本における生活の基礎を身に付け、その能力を伸ばし未来を切り拓くことができるよう、就学機会の提供を全国的に推進している。
	特別支援学級だけでなく、通常学級においても特別な支援を必要とする児童生徒数が増えている。医療的なケアが必要な児童生徒に対しては、看護師派遣等十分な支援を行った。	
4 家庭・学校・地 域の共働の推 進	外国人児童生徒等教育事業	
	日本語指導が必要な児童生徒の急増、多国籍化、在籍する学校の散在化によって、個々の状況に応じた適切な支援が十分に行き届いていない。	
	WE LOVE とよた教育プログラム推進事業	○地域における教育力の低下、保護者の孤立化などの課題や、学校を取り巻く課題の複雑化・困難化に対して、社会全体で対応するため、文部科学省は「学校と地域でつくる学びと未来」をキャッチフレーズに、学校・家庭・地域が連携・協働の促進に取り組んでいる。
	WE LOVE とよた教育プログラムは、数・種類共に十分ではない。また、認知度が低く、実践校が限られている。	○学習指導要領では、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりするなど、学校教育のめざすところを社会と共有・連携しながら実現させることをめざしている。
	コミュニティ・スクール／地域学校共働本部推進事業	○少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定され、学校部活動の適正な運営や 効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方が提示されている。
	ボランティアの参加が少なかったり、自治区等との連携が十分でなかったりする等、地区によっては運営面での課題がある。事業の核となる地域コーディネーターを増やしていくために、人材の発掘や育成が必要。	○国の教育振興基本計画では、子どもたちのウェルビーイングを高めるには、教師のウェルビーイングを確保することが必要であり、学校が教師のウェルビーイングを高める場となることが重要であると示されている。
	地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業	
	休日部活動の地域移行を全28中学校で着手。	
	時間外在校等時間の長い教職員が固定化されている。時間外在校等時間は減っているが、多忙感は減っていないと感じている教職員が多い。	



生き抜く力の
育成

誰一人取り残
さない教育の
推進

地域の中で子
どもを育てる

安心・安全な
環境整備

教育 DX の
推進

学校教育と社会教育の連携

1 第9次総合計画と教育行政計画

(1) 第9次総合計画

取組方針1 とともにこどものミライに夢と希望をつくる 取組目標① こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる 目指す姿(1) こどもがミライを生き抜く力と自己肯定感を高めている 施策 地域資源を生かした遊び・学び・体験の機会の充実 目指す姿(2) 人生100年時代に誰もが学び合いを通じていきいきと暮らしている 施策 大人の学び・活躍を支援する機会の充実 目指す姿(3) 市民のまちへの愛着・誇りが育まれている 施策 まちの歴史・文化・芸術や自然等をミライにつなぐ取組の推進 施策 身近な地域の魅力を知り、生かす機会の充実
取組目標② 誰もがつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる 目指す姿(2) 誰もが地域・多世代でともにつながり合いながら暮らしている 施策 地域活動の持続可能性の向上 施策 多様でゆるやかな「つながり合い」の創出の促進

(2) (仮) 第5次教育行政計画

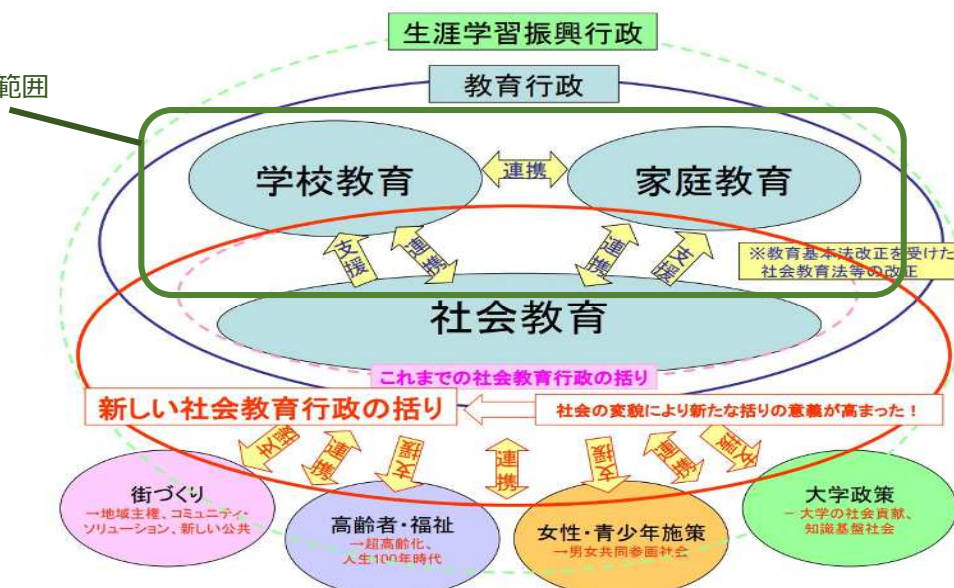
①社会教育分野との連携強化

②学びの大綱の基本理念：

「つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く」

2 学校教育と社会教育について

第4次教育
行政計画の範囲



引用：第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（中間とりまとめ）

基本理念

- ・10年程度の長期的な目標

めざす学びの姿

基本方針

- ・めざす学びの姿を実現するため、国や社会の動向、市の現状と課題から設定

取組の方向性と取組名

- ・国や社会の動向、市の現状と課題から設定
- ・9縦、4次計画掲載事業などから
- ・★新規

学びの大綱 (案)

つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く

自己肯定感を高め、
自他を尊重する

誰もが安心して、
生涯にわたり楽しく
学び続ける

豊田市の多様な魅力を
分かち合い、つながり
の中で学び、地域と
ともに育つ

自ら考え行動し、
ともに新しい未来を切
り拓く

生き抜く力の
育成

誰一人取り残
さない教育の
推進

地域の中で子
どもを育てる

安心・安全な
環境整備

教育 DX の
推進

自他を尊重する心を育む教育の推進

- ★子どもの命を守るための取組の充実 (ハートサポートプログラム・いじめ防止対策事業)

学ぶ楽しさを知り自らの可能性を広げる学校教育の推進

- 主体的・対話的で深い学びの推進
- きめ細かな教育の推進
- ICT 活用の推進 (情報化プラン・教育データの利活用)

誰もが安心して自分らしく学べる教育環境の確保

- 特別支援教育の推進
- 外国人児童生徒等の教育の充実
- 不登校児童生徒への支援充実 (居場所みつげプラン)

安全・安心で新しい学びを生み出す空間整備

- 学校施設・中央図書館の長寿命化
- 新しい学びにふさわしい校舎への改修
- ★学校施設利活用の検討
- ICT 活用環境の整備

子どもと向き合い学びに伴走する学校づくり

- 教員の働き方改革
- 教職員の研修体制の充実

生涯にわたり学び続ける機会の充実

- ★社会教育の推進
- 子どもの読書活動の推進 (子ども読書活動アクションプラン)

郷土を愛し地域とともに学ぶ共働の促進

- 地域の教育資源を活用した学び・体験の機会の充実 (We love とよた教育プログラム)
- コミュニティ・スクール/地域学校共働本部の体制強化 (○とよた地域クラブ活動展開プラン)

新たな社会の創り手となる資質・力を育む機会の創出

- ★社会教育の推進
- 国際理解教育の推進 (中学生海外派遣事業)